

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【中国初 GRP1 兆人民元超の市轄区が大湾区に誕生】](#)

[【大湾区、グローバル医薬イノベーションの「第一候補地」へと加速】](#)

[【第一回「グローバル産業サミット」が香港で開幕】](#)

【中国初 GRP1 兆人民元超の市轄区が大湾区に誕生】



大湾区に位置する深圳市南山区の 2025 年域内総生産（GRP）が 1 兆人民元を超え、中国本土の市轄区（市の直轄区）として初めて「1 兆元区」入りを果たしました。

南山区の李小寧区長が明らかにしたところによりますと、同区の経済規模は「第13次五カ年計画（十三五）」末の2020年時点で6,527億元でしたが、その後5年間で4つの一千億元規模のステップを経て、年平均5.8%超の成長率を達成しています。

南山区は深圳市総面積の10分の1程度を占めており、中国改革開放の象徴的なモデルとされる「蛇口モデル」や、「時は金なり、効率は命なり」というスローガン発祥の地として知られています。現在では、数百にも上る川上・川下企業が集積し、ロボット産業の集積地「ロボットバレー」としても活況を呈しています。また、深圳・香港イノベーション資源の集約や、ドローンのDJIなどのリーディングカンパニーの好調な成長が見られ、海外展開に向けたインフラ整備やグローバル企業支援のサービスセンターも整備され、企業の連携を後押ししています。

中国（深圳）総合開発研究院の常務副院長を務める郭万達氏は次のように指摘しています。「南山区の経済発展は、科学技術イノベーションが資源の制約を絶えず突破できることを示しており、新たな質の生産力の力強い原動力を浮き彫りにし、中国経済の広範な将来性と巨大な潜在力を反映しています」

南山区は深圳湾を挟んで香港の元朗区と隣接し、南西には珠江口を挟んでマカオや珠海と向かい合っています。この立地の優位性を生かし、大湾区における科学技術イノベーションと産業製造の重要拠点に成長しています。広東省第14期人民代表大会第5回会議で明らかになったところによりますと、大湾区の建設は深まりを見せ、2025年には経済規模が15兆元を突破する見通しです。

統計によりますと、南山区の戦略的新興産業の付加価値はGRPに占める割合が60%に達し、多くの香港・マカオからの科学技術ベンチャーチームが根付き発展しています。また南山区は、香港・マカオの科学研究資源との連携を強化し、低空経済や人工知能（AI）などの未来産業の育成にも積極的に取り組んでおり、多くの科学技術企業が世界市場で大きなシェアを獲得しています。

現在、南山区の上場企業数はすでに 200 社を超えており、その数量は一部の省における省全体の数に匹敵しています。南山区科技革新局の張景平局長は次のように述べています。「南山はイノベーション環境の最適化を継続し、地域内の 60 万以上の企業にサービスを提供しています。これにより『大企業がそびえ立ち、中小企業が行き渡り、イノベーション企業が新たな領域を切り拓く』というエコシステムの構築を推進しているのです」

このエコシステムは通称「万億城区」とされ、中国の対外開放における「新たな窓口」「新たなプラットフォーム」としても機能しています。南山区は自らの産業優位性を活かし、中国企業の海外進出支援、世界市場へのさらなる統合促進、外資系企業の中国市場参入支援を目的とした総合プラットフォームの構築に注力しています。2025 年 4 月には、南山区に「グローバルサービスセンター」が正式に開設され、革新的な協働サービスモデルにより、企業に対して全面的且つきめ細かなサービス保障を提供しています。

【大湾区、グローバル医薬イノベーションの「第一候補地」へと加速】

1 月 28 日、2026 年「多国籍製薬企業大湾区ビジネス懇談会」が広州で開催されました。ジョンソン・エンド・ジョンソン、ファイザー、アストラゼネカ、バイエルなど 15 社の多国籍製薬企業から中国地区総裁および部門責任者ら 40 余名、広東省関係機関および珠江デルタ地域 9 市の政府関係責任者と専門家が一堂に会し、世界の医薬産業のトップレベルの知見が集まる対話が繰り広げられました。

参加者らは「国家医療保険制度による医薬品価格交渉対象薬の大湾区における運用」「革新的医薬品に関する商業健康保険の進展」「『港澳薬械通』* の実施と最適化」などのテーマについて踏み込んだ意見交換を行い、大湾区が世界の医薬品イノベーション資源を惹きつける決意を示すとともに、開放と相互利益を特徴とする産業エコシステムの構築に向けた道筋を描き出しました。

* 港澳薬械通：香港やマカオで承認済の薬品や医療機器を広東省の指定医療機関が輸入、使用できるスキーム



政府・企業協力で医薬品の高品質発展に向けた「大湾区モデル」を模索

懇談会において、広東省の関係部門の責任者は、過去2年間に広東省が20件近くの関連政策文書を相次いで策定し、全産業チェーンをカバーする発展計画、優位性のある分野を対象とした特別政策、未来産業の行動計画という「政策パッケージ」を形成し、企業に対して全面的で持続可能な優れた発展環境を構築することを目指していると紹介しました。

出席した多国籍製薬企業の代表者は、総じて大湾区のマーケットには大きな潜在力があり、イノベーション環境も日々整備されていることから、将来を見据えた事業展開における戦略的要地であるとの認識を示しました。

「広東省は、開放的な姿勢で世界の医薬品イノベーションにおける重要な発信地となりつつあります」香港ウィンヘルス・ファーマ（維健医薬）の創業

者、王威氏は「特に革新的な医薬品の市場参入において、大湾区には大きな可能性がある」と述べました。現在、広東省では革新的な医薬品・医療機器の製品リストを定期的に発表する仕組みを確立し、より多くの革新的な医薬品が速やかに医療保険の適用リストに組み入れられるよう推進しています。また、異地治療時の「二重チャンネル」における直接決済を推進し、患者が地域を越えて円滑に医薬品を利用できる環境を整えています。

支払い保障の面では、広東省はまず、全省の医療保険個人アカウントから民間の医療保険を購入するためのチャンネルを開通させました。現在、10都市でこの制度が実施されており、22のパイロット病院では民間保険による直接支払いが実現し、患者が費用を一時立て替える必要がなくなっています。さらに「医療保険＋民間保険」のワンストップ決済サービスを提供し、患者の負担を一層軽減しています。現在、広州、深圳、珠海など7都市では、「港澳薬械通」の対象製品の一部を医療保険の保障範囲に組み入れており、より多くの患者がこれらの革新的医薬品を利用でき、かつ負担可能なものとなるよう努めています。

ファイザー製薬の上級副総裁である銭雲氏は、広東省が先行優位性を活かし、率先して「省レベルの商業保険・革新的医薬品清算プラットフォーム」を構築することで、従来の「一時立て替え、後日払い戻し」というプロセスを根本的に解消すべきで、同時に、基準を統一することで保険会社の運営コストを削減し「目録－支払い－使用」という好循環を形成するべきであると述べました。

また、ジョンソン・エンド・ジョンソン（イノベーション製薬）中国区総裁の黄琛氏は、医療機関が民間保険を迅速に導入するよう促すための具体的なインセンティブ措置を打ち出し、国家医薬品価格交渉対象薬の適用に関する政策についての研修や広報活動を強化し、優れた政策が現場の医師にまで確実に浸透するようにすることを提案しました。

「港澳薬械通」が医薬品・医療機器承認の「ファストトラック」に

「港澳薬械通」政策は、多国籍製薬企業が注目する一大焦点となっています。関係者によると、広東省はこの2年近く、「広東省大湾区内陸九市における香港・マカオからの医薬品・医療機器輸入管理条例」などの法規政策を策定・施行し、申請手続きの標準化とプロセスの最適化を通じて、審査承認の効率を大幅に向上させました。中国本土への輸入が承認された香港・マカオの医薬品・医療機器の品目数は、2023年の48品目から現在では146品目に急増しています。また、指定医療機関は19機関から71機関に拡大し、大湾区内陸部の9都市すべてをカバーしています。この「ファストトラック」は、多国籍製薬企業の革新的な製品が、より円滑に大湾区市場に参入するための後押しとなっています。

フランスのセルヴィエ中国の総経理である MANUEL RUIZ 氏は懇談会で、ある成功事例を紹介しました。2025年、同社が開発した希少な脳腫瘍治療薬が、「港澳薬械通」の制度を通じて広東省で承認され、中山大学腫瘍防治センターでいち早く使用され、「港澳薬械通」は非常に影響力の大きい制度的イノベーションであり、新薬が中国市場に参入する際に直面する構造的な課題に、的確に対応しています」と述べました。

「港澳薬械通」は、多国籍製薬企業が大湾区でリアルワールドデータを用いた研究（RWD 研究）を実施するための条件を整えました。これを受け、広東省は関連政策を打ち出し、公立医療機関と企業との連携による当該研究の実施を明確に支援するとともに、申請手続きの詳細を定めました。これまでのところ、7社の多国籍製薬企業が大湾区内の4つの医療機関と連携し、9件のリアルワールドデータ研究を実施しています。

暨南大学・大湾区医薬品・医療機器リアルワールドデータ研究院院長の蔣傑氏は、「大湾区は、外資系企業がリアルワールドデータ研究を実施する上で、最も理想的な環境です。同研究院が設立当初より目指しているのは、『港澳薬械通』の対象製品が大湾区のパイロット病院で使用されるにあたり、リアルワールドデータに基づく安全性、有効性、そして経済性の評価を提供することで

す。現在、同研究院は既に 3 件の前向きリアルワールドデータ研究と、複数の後ろ向きリアルワールドデータ研究を完了しています」と述べました。

近年、大湾区に対する多国籍製薬企業の関心はますます高まっています。現在、サノフィ・パスツール、フェリング・ファーマ、アスペン・ファーマ、アストラゼネカを含む複数の多国籍製薬企業が広東省に生産拠点や地域統括本部を設立しており、その他の企業も重要な支社・拠点を設置しています。

キエジ・ファーマ中国総経理の鄧浩青氏は「多国籍企業は、革新的な医薬品・医療機器の導入者であるだけでなく、広東省の医薬産業の質の高い発展を支える長期的なパートナーでもあります。将来的には広東、香港、マカオ三地域の医薬品登録に関する連携メカニズムを強化し、いずれか一地域での登録申請に基づき、三地域で同時に事前審査を行うことを可能にし、大湾区におけるリアルワールドデータ研究の戦略的ポジショニングを高めることで、大湾区のデータが、革新的な医薬品・医療機器の全国市場参入を後押しする『促進剤』となることを期待しています」と述べました。

【第一回「グローバル産業サミット」が香港で開幕】



香港の財務事務及び庫務局、香港貿易發展局、及び重点企業誘致オフィスが共催する初の「グローバル産業サミット」は、2026年1月27日、香港で開幕しました。このイベントには、人工知能（AI）とテクノロジー、ロボット、高成長が見込まれる消費市場、バイオ医薬及び医療ヘルスケアなどの産業のリーダーが集結し、金融サービスを活用してどのようにイノベーション発展を促進し、持続的成長を実現するかについて議論を深めました。

開幕式で香港財政司司長の陳茂波氏は「世界は今、人工知能とグリーントランスフォーメーションという二重の大きな潮流を迎えている。この2つの原動力は、産業チェーンやビジネスモデルを再構築するだけでなく、将来の経済競争における重要な鍵となるだろうそして「香港はすでに2,000億香港ドル以上を投入し、イノベーション・テクノロジー産業の発展を推進しており、100社以上の重点企業の誘致に成功した。これにより、600億香港ドル以上の投資と約

22,000 人の雇用創出が見込まれ、香港のイノベーション・エコ・システムはさらに強化・拡大されるだろう」と述べました。

さらに、陳茂波氏は「貿易、金融、そしてイノベーション・テクノロジーは、今後の香港の経済成長における 3 つの主要な原動力となる」と強調し「発展の余地をさらに広げ、イノベーション・テクノロジーと産業発展の融合をより強力に推進するため、現行の香港政府は北部都会区の開発を加速させることを優先課題とし、より柔軟な発展モデルを提供していき、企業が北部都会区に進出することを歓迎する。香港は、単に資本、市場、プロジェクト、人材、機会をつなぐプラットフォームであるだけでなく、戦略的パートナーとして、産業の成長、規模拡大、そしてグローバル展開を支援することに意欲的です」と述べました。

香港貿易発展局主席の馬時亨氏は「現在の不確実性に満ちた環境において、多角的な連携を深化させることは、経済、産業、そして社会全体の回復力と適応力の向上に寄与する」と指摘し、更に「香港は独自の強みを活かし、官民対話を促進し、分野横断的な協力を推進する『スーパーコネクター』『スーパー・バリュー・クリエーター』『スーパーコラボレーター』としての役割を果たすことができ、香港は中国本土と国際市場を結ぶ重要な架け橋として、中国本土企業の海外進出やグローバル展開を支援すると同時に、海外企業が中国市場に参入するための質の高いプラットフォームを提供し、専門的なサポートを行っていく」と述べました。

「中国本土市場における新たな機会を探る」というセッションでは、複数の中国本土の省・市の代表者が、デジタル経済、先進的製造業、現代サービス業などの分野における発展計画や協業の可能性について紹介し、国際社会が中国本土の質の高い発展によってもたらされる新たな市場機会を的確に捉えることをサポートしました。

サミットでは「バイオメディカル 2026：トレンド、チャレンジ、チャンス」「AI インフラ：駆動型のスマートサプライチェーン」などの基調講演も行われ、参加者は各産業の将来の発展動向を分析し、資金をより大規模な経済成長

の原動力や産業高度化の効果への転換に関する方策について意見を交わしました。

【参考資料】

- ・ [中国初 GRP1 兆人民元超の市轄区が大湾区に誕生](#)
- ・ [大湾区、グローバル医薬イノベーションの「第一候補地」へと加速](#)
- ・ [第一回「グローバル産業サミット」が香港で開幕](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====